

## 平成30年度第5回中郷区地域協議会次第

日 時:平成30年7月20日(金)18時00分～

場 所:中郷区総合事務所 第4会議室

### 1 開 会

### 2 協 議

(1) 地域活動支援事業について

…資料1  
提案書 (事前配布済)

(2) 視察研修について

…資料2

### 3 報 告

(1) 勝馬投票券場外発売所立地関連地域振興基金の活用による  
二本木駅周辺の整備に関する意見書の回答について

(2) 次期総合公共交通計画の策定について

…資料3

### 4 その他

### 5 閉 会

資料No.1
第5回地域協議会
H30.7.20

## プレゼンテーションの進め方と留意事項について

- ・ プレゼンテーションでは、1 団体の持ち時間を「10 分」と設定します。
- ・ 内訳は、提案者からの発表 5 分、地域協議会委員からの質問 5 分です。
- ・ 発表者は、黒板側で発表してもらいます。
- ・ 持ち時間の関係上、質問は 1 団体につき、1 人 1 つまでとします。
- ・ 時間内にできなかった質問は、お配りの質問記入用紙に記入のうえ、本日の地域協議会終了後もしくは 24 日(火)までに事務局に提出してください。事務局でとりまとめ、提案者に送付します。
- ・ 回答は、事務局でとりまとめ、採点票と併せて後日配付します。

資料No.2
第5回地域協議会
H30.7.20

平成30年度 中郷区地域協議会視察研修 計画 (案)

○実施時期…11月(1日(木)、2日(金)、5日(月)のいずれか)

	案
視 察 研修先	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「集落営農の法人化の経緯・現在の運営について」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・集落営農が定着している法人へ出向き、設立から現在に至るまでの経緯を伺う。</li> <li>・中郷区内同様3反区画の圃場で耕作している法人(2法人程度) ※農業公社も候補とする。</li> </ul> </li> <li>○「直売場の経営」 あるるん村</li> <li>○「有害鳥獣の利活用」 柿崎ブーシェリー(柿崎区) <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営は、地域の農業者や猟友会会員、さらに新潟市の飲食店経営者。</li> <li>・イノシシを解体し精肉・加工・販売まで行っている。</li> </ul> </li> </ul>
行 程	<p>9:30 中郷区総合事務所 発 (移動 30分)</p> <p>10:00 市内農事組合法人等① 着 (視察研修 60分)</p> <p>11:00 市内農事組合法人等① 発 (移動 45分)</p> <p>11:45 あるるん村 着 (昼食・休憩 視察研修 90分)</p> <p>13:15 あるるん村 発 (移動 45分)</p> <p>14:00 柿崎ブーシェリー 着 (視察研修 60分)</p> <p>15:00 柿崎ブーシェリー 発 (移動 45分)</p> <p>15:45 市内農事組合法人等② 着 (視察研修 60分)</p> <p>16:45 市内農事組合法人等② 発 (移動 30分)</p> <p>17:15 中郷区総合事務所 着</p> <p>17:30 意見交換会(会場未定)</p>

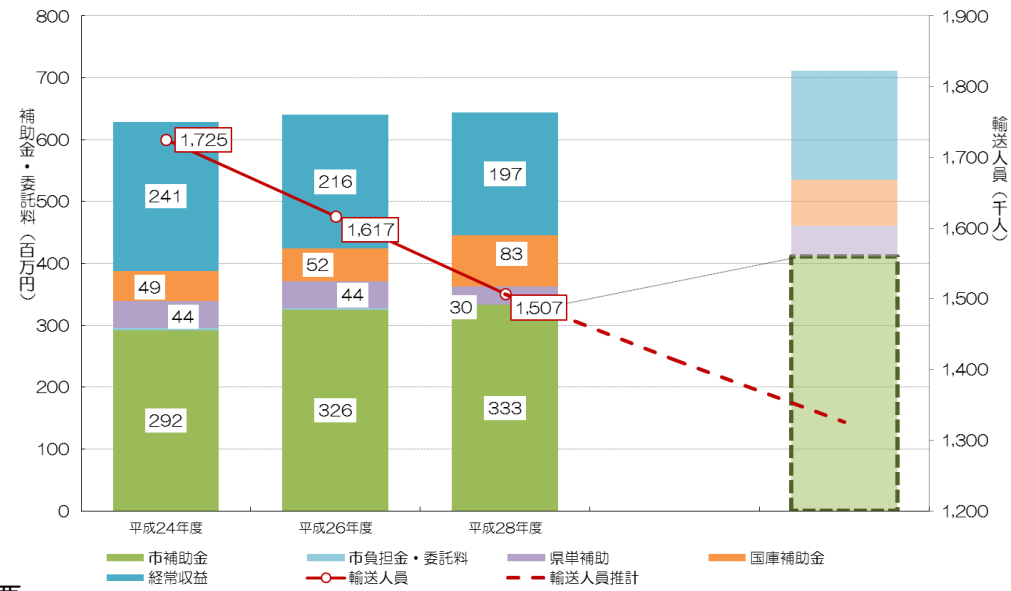
# 次期総合公共交通計画の策定について

資料No.3-1  
第5回地域協議会  
H30.7.20

## 1 計画策定の目的

- ・高齢化の進行や運転免許返納者の増加に伴い、これまで以上にきめ細かな公共交通を求める機運が高まっており、住民の需要を的確に捉え、利用しやすく、「乗ってもらえる」公共交通を再構築する必要がある。
- ・一方、少子化や人口減少、自家用車の普及が進む中、公共交通の利用者は減少傾向にあり、安定的な運行を維持するための市の財政負担は年々増大していることから、将来にわたって持続可能な公共交通を確保する必要がある。

### ■路線バス輸送人員並びに収入及び補助金の推移



## 2 計画の概要

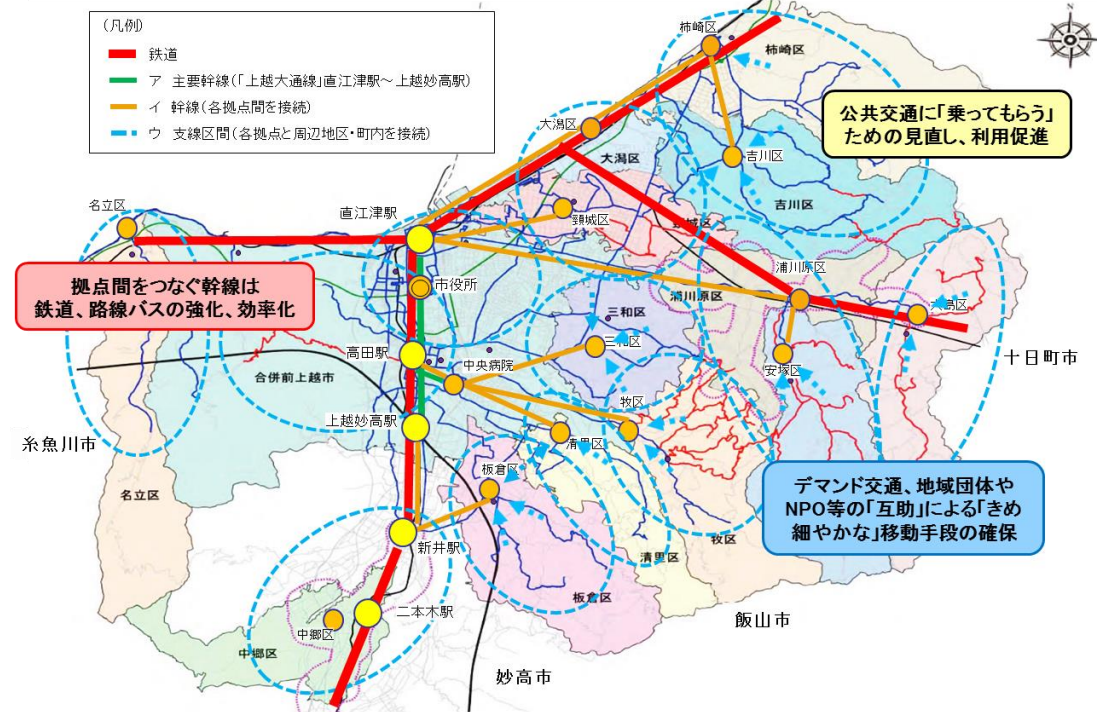
- (1) 計画区域 上越市全域
- (2) 計画期間 中間見直しを含め、平成32年度から8年から10年程度を想定
- (3) 公共交通ネットワークのイメージ

- ・バス路線を、基幹となる「主要幹線」、駅と各区をつなぐ「幹線」、地域内のきめ細やかな移動手段を確保する「支線」に役割分担し、役割に応じた本数、ダイヤ等を設定
- ・従来のバスに限らず、利用頻度や人数などに応じ、より小型の車両による「乗合タクシー」や、地域住民のボランティアによる「互助・自助」による移送など、きめ細かで使いやすく、効率的な運行形態を設定
- ・公共交通の維持が困難となっている現状を共有し、住民の参加による検討

## 3 策定スケジュール

	市全体の検討	各地域における検討
～H30年 8月	・現行計画の評価、全市的な現状の把握 (市民アンケート、乗降調査等)	・各地域の現状の把握 (懇話会、地域の団体との意見交換等)
～H31年 2月	・地域公共交通網の見直し	・地域の再編案の検討、住民との協議等
3月	・計画の骨子完成	
～11月	・計画案の作成	・各地域の再編案の検討、合意形成
～H32年 2月	・計画案の完成、パブリックコメント	
3月	・計画の策定	

### ■公共交通ネットワークのイメージ



### ■支線における運行形態のイメージ

1人当たり利用頻度	利用人数/便				運行形態【市の支援】		運行本数
	多い	少ない	10人以上	4～9人	2～3人	1人	
○		○				定時	多い
	○					デマンド	
○			○			定時	少ない
				○		デマンド	
	○				○	デマンド	

運行形態【市の支援】

- 路線バス【運行補助】
- スクール混乗バス【市営】
- 乗合タクシー【運行補助】
- 自家用有償旅客運送【運行補助】
- 互助・自助による移送【車両維持費支援】
- 相乗りタクシー【運賃補助 週3回】
- 通院・買い物タクシー【運賃補助 週1回】

### ■移動手段の例

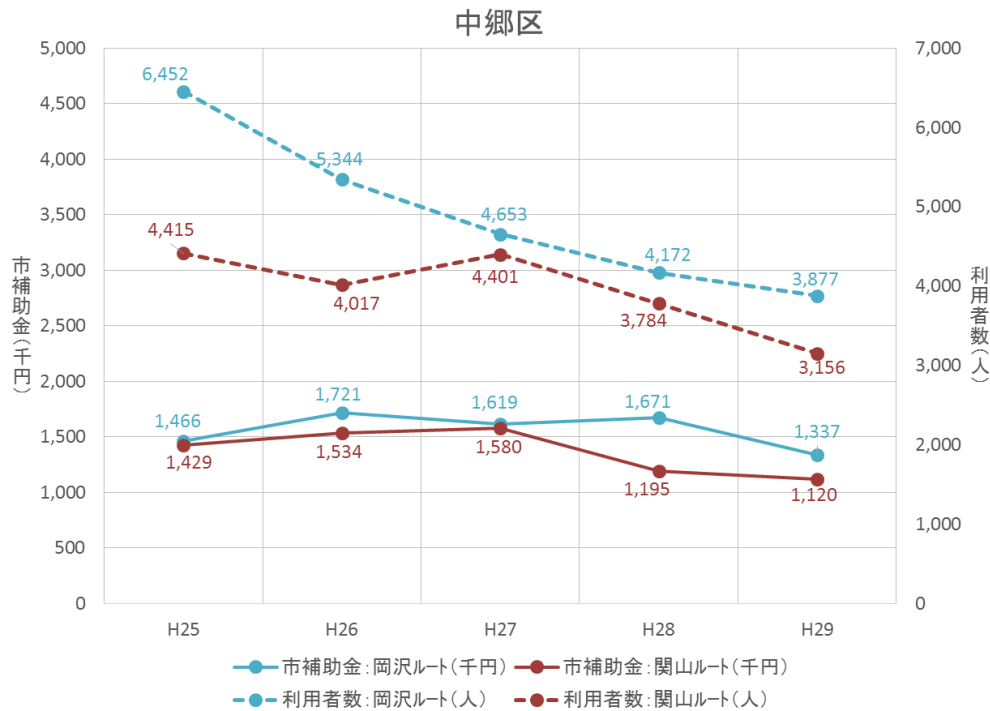
移動手段	内容
スクール混乗バス	・小中学生のスクールバスに、一般利用者也乗車 ※当市5区で運行
乗合タクシー	・タクシーやジャンボタクシーの車両を使用し、バスのように利用者を乗り合いで輸送 ※中郷区で運行
NPO等による輸送	・公共交通がない地域において、NPO法人や町内会等が、白ナンバーの自家用車でバスを運行 ※妙高市、長岡市、魚沼市で事例あり
民間企業等が運営する循環バス	・商店街などがバス会社へ委託などによりバスを運行 ※高松市丸亀町商店街振興組合「まちバス」
互助・自助による輸送	・地域の自治会やNPO法人が、自ら運行ルートやダイヤを決め、地域の助け合いで利用者を輸送 ※新潟市「住民バス」
タクシーの運賃助成	・タクシーの運賃割引を受けることができる利用券を配付（相乗りは割引率が高い） ※前橋市で実施

## 中郷区の主な路線バスの状況

## 1 路線の概要

路線	運行経路	便数	
		平日	土休日
岡沢ルート	新井バスターミナル～中郷区総合事務所～岡沢	10	0
関山ルート	新井バスターミナル～姫川原～コメリ前	8	0

## 2 利用者数と市補助金の推移



## 3 収支状況

岡沢ルート (平日1日10便)      関山ルート (平日1日8便)

1便につき、                      2. 8人                      2. 2人                      が利用しています。

平日1日の運行で、              約2. 4万円              約2. 4万円              の赤字が発生しています。

赤字の解消には、1便              11人                      10人                      が新たに利用する必要があります。

## 収支状況

(千円)

H29年度	岡沢ルート	関山ルート	合計
収入	865	927	1,792
支出	4,200	5,298	9,498
欠損	▲ 3,335	▲ 4,371	▲ 7,706
国県補助金	1,421	2,061	3,482
市補助金	1,337	1,120	2,457
収支率	20.6%	17.5%	18.9%

## 利用者1人当たり収支状況

(円)

H29年度	岡沢ルート	関山ルート	合計
収入	223	294	255
支出	1,083	1,679	1,351
欠損	▲ 860	▲ 1,385	▲ 1,096
国県補助金	367	653	495
市補助金	345	355	349

地域活動支援事業提案書に係る  
「プレゼンテーション順番表」

発表 順	発表開始時間	事業の名称	提案団体	提案 事業 No.
1	18時05分	剣道を楽しもう 事業	中郷剣道スポーツ 少年団	1
2	18時15分	「中郷中学校吹奏楽部による中郷区 地域貢献活動」支援 事業	中郷中学校吹奏楽 部保護者会	2
3	18時25分	二本木駅を核としたみんなが集まり 地域で作る地域活性化 事業	中郷商工会	3